

探究 ひとを想い 先駆する青年たれ

一般社団法人 和歌山青年会議所 www.wakayama-jc.net

Report

2019年3月17日(日) 和歌山市立青少年国際交流センター

3月度例会 ~役立つ防災コミュニケーション!ピザがつなく笑顔の輪!!~

例会委員会 委員長 田代紘規

2019年3月17日(日)和歌山市加太にあります「和歌山市立青少年国際交流センター」にて3月度例会～役立つ防災コミュニケーション!ピザがつなく笑顔の輪!!～を開催いたしました。休日の朝早くから多くのメンバーとご家族にお集まりいただきましたので、委員会メンバーで力を合わせてみなさんに笑顔になってもらえるよう尽力しました。

講師の林美由貴先生との事前打ち合わせの中で、被災地生活の実情をお聞きした結果、身の回りにあるものを使って楽しくコミュニケーションを取ることの重要性を感じましたので、単に講演を聴くだけではなく実際に体験することによって、防災意識を高め、知識を習得していただく例会にしようと考え、企画しました。

ダンボール窯のピザ作りでは、ピザを焦がしたり、落としたりと小さなトラブルはありましたが、それも自然な体

験として、終始笑顔や笑い声が絶えませんでした。ビニール袋防寒着作りでは、メンバー家族、特に小さなお子さんが主役になり、チームごとに特色のある防寒着を作って楽しむことができました。中にはアニメのキャラクターさながらなコスチューム防寒着を作る熱心なメンバーもおられ、最後のファッションショーでは最高のパフォーマンスでランウェイを闊歩していただき参加者を楽しませてくれました。この例会を通して、参加者それぞれの個性が場を盛り上げ、知識や経験が団結力を高めてくれると感じることができました。

これからもみなさんに参加したいと思っただけの例会を企画・運営していきたいと思っておりますので、今後とも積極的なご参加よろしくお祈いします。

最後になりますが、参加していただいたみなさま、本当にありがとうございました。



講師の林美由貴先生



ピザ作りの様子



事業を担当した例会委員会メンバー



参加者全員で記念撮影



新聞紙で防寒着作り

和歌山J Cサッカー部

キャプテン 片山朋樹

2012年度より正式に活動を始め、本年度で8年目を迎える和歌山J Cサッカー部は、現役会員と特別会員とで構成されており、現在35名で活動を行っております。毎月の練習試合や練習では、サッカーを通じて日頃の運動不足を解消し、現役会員と特別会員、または他の地域の青年会議所メンバーと気軽にコミュニケーションをとれる楽しい機会となっております。

約50チームが参加している全国大会にも毎年出場しており、2019年度開催地の「第35回全国J Cサッカー

選手権大会金沢大会」で8回目の参加となります。予選リーグを行い、各グループの1位チームが決勝トーナメントに進出します。昨年度は惜しくも決勝トーナメント1回戦で敗退しましたが、本年度こそは予選リーグを1位で突破し、決勝トーナメントで勝利することを目標としております。そして、随時新しい部員を募集しております。サッカーに少しでも興味のある方や運動不足を解消したい方は、是非、お待ちしております。



和歌山建設クラブ

2019年度会長 尾藤大輔

公益社団法人日本青年会議所には様々な業種別部会があり、その中の日本建設部会の和歌山ブロック部会として、和歌山建設クラブは2009年に発足いたしました。会員は和歌山県内の建設業及びこれに関する事業を営む者で構成されています。

活動内容は、総会・講師例会・交流事業などがあり会員の皆さんに学び・交流を通じてビジネスにつなげていただきたいと思っています。また、年に1度懇親旅行として建設部会全国大会に参加しています。

入会にご興味のある方は、常日頃お忙しいとは存じます

が和歌山建設クラブに足を運んでいただき、和歌山建設クラブの魅力を感じ取っていただきたいと思っています。皆さまのご入会をお待ちしております。



2019年3月29日(金) 和歌山市

Report

目指せ防災マスター！地球最速の防災パートナーを見つける防災マッチング

公益社団法人近畿地区協議会 国土強靱化委員会 副委員長 今村哲朗

3月29日に出向しております、近畿地区協議会国土強靱化委員会の事業として和歌山市にて第1回災害リスクヘッジ会議を行いました。

近年起こりうる災害には台風・地震・大雨そして噴火と日本の災害は様々あり、地域によって抱えている災害リスクが違い、地域に応じた防災の助け合いが必要になってまいります。そこで各地の「J・C」・役所・社協・企業などにお声掛けをさせていただき、和歌山・奈良から約20名の方々に会議に参加いただきました。

会議では意見交換と名刺交換が活発に行われ、今抱えている防災の弱みの気付きや、「J・C」と役所の締結の相談など本事業で防災に関して助け合えるきっかけづくりを行うことができました。活気にあふれた実りある災害リスク会議が行われましたことを報告いたします。

災害リスクヘッジ会議は開催エリアを変えて第3回まで行います。引き続き皆さまからのご指導、ご鞭撻の程どうぞよろしくお願い申し上げます。



防災に関する意見交換



会議に参加された山路理事長



来和された松田会長



司会進行を務める今村副委員長

5月度告知

第50回和歌山ブロック大会那賀大会

●第50回和歌山ブロック大会那賀大会記念式典

2019年5月12日(日) 9時30分受付開始 10時00分開会

●地域とともに考えようSDGs ～持続可能なまちづくりとは！？～

2019年5月12日(日) 13時00分受付開始 13時30分開会

●和歌山逸品フェスタ

2019年5月12日(日) 11時00分開催 16時15分終了

公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区 和歌山ブロック協議会 主催であります第50回和歌山ブロック大会那賀大会が5月12日粉河ふるさとセンターにて開催されます。記念事業においては国連サミットで採決されたSDGsを地域の市民に知っていただくために、「地域とともに考えようSDGs ～持続可能なまちづくりとは！？～」というフォーラムを開催いたします。1部では関西大学経済学部 教授 後藤健太氏と、企業としてSDGsに取り組んでおられる株式会社 サラヤの取締役 代島裕世氏を御招きし、市民一人ひとりや企業としてSDGsに取り組む重要性をトークセッションしていただきます。2部ではよしもと興業による笑ったのしめるSDGsを開催いたします。また、粉河ふるさとセンター野外ステージでは和歌山県内にある食の魅力発信を行う和歌山逸品フェスタが開催されます。そこでも、子供向ステージのSDGsスタンプラリーも行いますのでご参加宜しくお願いします。

(和歌山ブロック協議会 副会長 松下正典)

子どもなかよしまつり

2019年5月5日(日) 11:00~16:00

本年も和歌山市主催の「子どもなかよしまつり・音楽大行進」が和歌山城内において開催されます。行政、各種団体、市民の皆さまと和歌山青年会議所という団体、またその活動を知っていただくとともに、まちの活性化につなげることを目的とし、我々も積極

的に参加いたします。和歌山青年会議所としてはスタンプラリーを企画し、「忍者輪投げ」「わとらんクイズ」「忍じゃんけん」の3つのチェックポイントを用意します。「わとらんクイズ」は初の試みとなります。和歌山青年会議所の公式キャラクターであるわとらんのことをゲーム感覚で覚えてもらい、周知につなげます。当日は、ぜひ事業へのご参加・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。またお子様のいるメンバーの皆さまはご家族へのお声かけもよろしくお願い申し上げます。

(ひととひとを結ぶまちづくり委員会 副委員長 島村奈菜)

第26回わんぱく相撲和歌山場所

第1回練習会2019年5月11日(土) 10時受付(約2時間)

第2回練習会2019年5月12日(日) 10時受付(約2時間)

本大会2019年5月19日(日) 8時受付開始

場所和歌山県宮相撲競技場

第26回わんぱく相撲和歌山場所を開催し、たくさんの子供たちとその保護者が参加します。子供たちの活気にあふれ、思い出に残るわんぱく相撲になるよう、現役会員のみなさまにはご参加とご協力をお願い申し上げます。

(会員開発委員会 委員長 和田篤樹)

第1回オリエンテーション

2019年5月14日(火) ルミエール華月殿5階

第1回オリエンテーションを5月15日(火)、ルミエール華月殿において開催いたします。多くの現役会員に参加していただき、候補者と深くコミュニケーションをとっていただくことで、ひとりでも多くの入会へと導けるようご協力お願い申し上げます。

(会員拡大委員会 委員長 玉置清正)

わとらんが行く！和歌山市が誇る企業の現場 「わかやまmine(マイン)」編

番外編

取材協力：和歌山県子ども・女性・障害者相談センター 主査 太田君代 様

1 わかやまmine(マイン)とは

わかやまmine(マイン)とは、正式名称を「性暴力支援センター和歌山」といいます。平成25年に設置された、和歌山県が運営する性暴力被害者のためのワンストップ支援センターです。

この「mine」というのは、すべての女性に「私のからだは私のもの、私のこころは私のもの」(1994年カイロ国際人口・開発会議で提唱された「性と生殖に関する健康と権利」の概念を分かりやすく表現した文言であり、妊娠、出産その他の性と生殖に関し、互いの意思が尊重され生涯にわたる健康と安全が確保され、自分の身体について決める自由を持つことを意味するもの。)という気持ちを持って、自分を大切にしながら心身の回復を図ってもらいたいという思いから名付けられたものです。

2 ワンストップサービスの重要性

性暴力に遭われた方は大きな肉体的、精神的な被害を受けることとなりますが、そうした被害から立ち直るためには多くの労力を必要とします。例えば、避妊処置や性感染症の検査を受けるためには産婦人科に、負傷した際には整形外科等に、メンタル面でのケアを受けるのであれば臨床心理士に、加害者に刑事罰を与えたいのであれば警察に、加害者への損害賠償請求等の法的支援を受けるのであれば弁護士に、というように多くの機関に足を運び、何度も相談することになります。各機関で情報が共有されていなければ、その度に被害に遭ったときの状況を説明しなければならず、思い出したくもないこと、人に言いたくないことを繰り返し話さなければなりません。ただでさえ辛い状況に置かれている性暴力被害者に更に大きな負担を強いることになってしまいます。

このような状況を改善するために、和歌山県立医科大学付属病院内に設置されたのがわかやまmineです。性暴力に遭われた方は、わかやまmineで相談を受ければ、相談を受けた支援員が協力機関と連携し、被害者の状況に応じて必要なコーディネートを行います。

ここで重要なのは、被害者に対して、単に、関係施設や機関・組織の紹介を行うのみに止まらないようにするという点です。例えば、被害者が法的支援を希望した場合は、わかやまmineの支援員が、協力機関である和歌山弁護士



士会から紹介された担当弁護士と被害者の間に入り、日程調整や被害状況の情報提供を事前に行い、スムーズに法律相談につなぎます。同じように臨床心理士によるカウンセリングにつなげたり、警察への被害申告を希望された場合には、わかやまmineに捜査員が派遣され、その場で事情を聴き取ってもらうこともあります。

また、法律相談料、カウンセリング費用、医療支援費用などは一定の範囲で公費の支援があり、金銭面でのケアもなされています。

3 今後の目標

性犯罪は顕在化しない暗数が非常に多い犯罪と言われていています。内閣府の調査では、強姦事件の警察への被害申告率は5パーセントにも満たないというデータもあります。理不尽な被害に遭っているにもかかわらず、誰にも打ち明けられず、1人で悩み、苦しみに耐えている性暴力被害者が数多くいらっしゃいます。

この暗数を少しでも減らし、誰にも言えず適切な支援を受けることができていなかった被害者を1人でも減らすことが、わかやまmineの目標です。

わかやまmineの連絡先

電話 073-444-0099

ホームページ <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/040402/mine/mine.html>

和歌山青年会議所はSDGs(持続可能な開発目標)を推進しています。SDGsとは2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っており、日本政府も積極的に取り組んでいます。今回は17のゴールのうち、「3:すべての人に健康と福祉を」と「5:ジェンダー平等を実現しよう」の観点から、「企業」ではありませんが、番外編としてわかやまmineを紹介させていただきました。※SDGsについての説明は以下のリンク先の国際連合広報センターのサイトをご参照ください。
https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/



5月 スケジュール

5	日	子どもなかよしまつり	和歌山城 西の丸広場
7	火	第9回財政規則審査会議	事務局
8	水	和歌山ブロック財審	事務局
9	木	第10回三役会	株式会社ナルセ
11	土	理事会 わんぱく相撲第1回練習会	和歌山商工会議所 和歌山県営相撲競技場

12	日	例会(ブロック大会) ブロック大会 わんぱく相撲第2回練習会	那賀 那賀 和歌山県営相撲競技場
14	火	第1回オリエンテーション	ルミエール華月殿
16	木	JCI G20	福岡
17	金	JCI G20	福岡
19	日	わんぱく相撲和歌山場所	和歌山県営相撲競技場

20	月	近畿地区正副会長会議	亀岡
21	火	近畿地区役員会議	亀岡
22	水	第10回財政規則審査会議	事務局
24	金	第11回三役会	株式会社ナルセ
26	日	第5回委員会審議会	白浜・田辺
28	火	委員長会議	あいあいセンター



編集・発行

一般社団法人 和歌山青年会議所

和歌山市西汀丁36番地(和歌山商工会議所5F)
TEL.073-428-3334(代) FAX.073-431-1693
URL: <http://www.wakayama-jc.net>
mail: office@wakayama-jc.net

